

令和3年度行事・事業計画

I 方針

1 研究会

活動指針・行動指針

当研究会の目的達成のため、宮事研ビジョン2020の基本理念に掲げる「目指す研究会像」を達成すべく「研究会の活動方針」を基盤として研究会活動を行ってまいります。

新型コロナウイルス感染症の流行が収まるまでは対策に十分留意し、社会情勢にも応じながら各種の活動を進めてまいります。

令和3年度は研究大会の開催年度にあたっており、会員の皆さんに有意義な研修の場を提供するとともに、学校事務職員としての資質向上や実践支援につながるような活動を行います。

研究会としては、これまで組織機構検討委員会で検討してきた内容を受け、より効率的で効果の大きい活動となるように努めてまいります。また、各地区研究会や学校事務の共同実施事業体等との活動内容等の分担化等について働きかけてまいります。

よりよい研究会とするために、お気づきの点などがありましたら役員あるいは事務局までお知らせください。

組織運営

組織改編の移行期間と捉え、各専門部および委員会ならびに事務局では、組織改編に向けた運営や活動を取り入れてまいります。その中で課題等が見つかった場合は、理事会で協議するなど組織運営の改善に努めてまいります。

各種の活動は、感染症の拡大状況ほか社会情勢に注意し、会員と学校現場の安全を考慮して活動してまいります。

各種事業開催にあたっては、経費の節減に努めるとともに、できる限り特定曜日(木曜日)に開催するものとし、地区事務研究会等との競合を避け、必要な活動時間を確保してまいります。

研修・情報提供

令和3年度は、研究大会を開催します。

研究大会は、地区研究会からの話題提供など、会員が作る研修会としての面を持ち、また学校事務職員の研究成果発表の場であることから、より身近な話題が提供され、当会の目的達成のための大きな事業です。

これまでの研究大会は、主管地区内の施設で開催しておりましたが、参加者の利便性と大会運営の効率化を図り、今年度は仙台市内施設での開催となります。多くの皆さんにご参加をいただきますようお願ひいたします。

その他、学校事務および学校に関する中央情勢や他県の状況などの情報収集に努め、必要に応じて理事会やホームページ等を通じて会員の皆さんに提供してまいります。

関係機関・団体との連携

宮城県教育庁総務課との意見交換会を継続して開催するように働きかけてまいります。当研究会活動をより有意義なものとするため、学校現場で職務に当たる学校事務職員が課題と

考えていることと県教委側で学校現場の課題ととらえていることなどの調整の場としていきたいと考えます。

宮城県小学校長会・宮城県中学校長会への働きかけや連携について、引き続き役員で協議してまいります。また、感染症対策など情報の交換や共有を図ってまいります。

仙台市立学校事務研究会・宮城県公立高等学校事務職員協会とは、令和2年度に実施できなかった合同役員研修会を開催するなど、継続して情報交換を行ってまいります。

全国公立小中学校事務職員研究会宮城支部とは、小・中学校教育の進展に寄与する事務職員を目指し、各種の情報交換や課題解決のための協議に努めてまいります。

2 広報部

ホームページを活用した広報活動を行い、できるだけ早く会員へ情報提供をしていきます。会員のページは年4回程度、理事会報告等はその都度速やかに更新をします。

地区事務研や個人等で作成した研究資料等、公開して差し支えないものがありましたら、資料提供をお願いします。また、広報部員から原稿等の依頼があった場合は、快くお引き受け下さいますようお願いいたします。会員の皆様からのご意見や情報を取り入れながら、よりよいホームページを作成していきたいと考えております。

また、組織改編基本方針を受け、これまでの活動に加えて、より広くタイムリーな情報を収集して会員の皆様に提供できるよう努めて参ります。

今年度のパスワードは、下記のとおりです。

また、意欲・興味のある方にぜひ広報部で手腕を發揮していただきたいと考えております。よろしくお願ひいたします。

ユーザー名： パスワード：

3 研修部

第5次中期研修計画の令和3年度計画に基づき、さらに組織改編基本方針の移行期間であることを踏まえて研修会の開催を予定しております。

総会・研修会では、研修Ⅰとして副会長より宮事研ビジョン2020の解説、調査研究部より事務職員実態調査、そして前年度東北大会秋田大会で発表する予定であった「学校事務の未来」～共同実施を通して若手事務職員が思うこと～についてお話をします。研修Ⅱでは「学校安全」をテーマに講演を設定しており、ひろむ弁護士事務所の齊藤 陸男 弁護士よりお話をいただきます。安全点検の見落としやすい事例や注意るべき点等を学び、今後の安全点検等や施設管理の参考としていただければと思います。

10月14日(木)には宮事研研究大会を開催します。中期研修計画研修項目「学校防災」として宮城県教育庁スポーツ健康課より講師を招いての講演を行います。

これは、令和2年12月に宮城県学校防災体制在り方検討会議における報告書が出されたことから、事務職員として関わる可能性、無関係ではいられない学校の一員、従前より高度な防災体制など、学ぶべき内容が多いことから企画したものです。

地区発表では「再任用職員関係」という内容で年度当初の事務手続から報酬手当や服務取扱といった一連の事務処理について北部地区より発表していただきます。

宮事研発表では、東北大会(秋田大会)話題提供の活動を調査研究部より発表していただきます。

今年度の研修部の活動は、総会研修会・研究大会における講演の運営のほか、令和4年度の総会研修会やセミナーの計画を進めるとともに、令和5年度の総会研修会やセミナーの青

写真を描くこととします。

4 調査研究部

今年度も宮事研と地区事務研を繋ぎ、研究活動の継続・発展を目指すという志をもちながら以下の調査研究活動に取り組んで参ります。会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

(1) 令和3年度宮城県公立小中学校事務研究大会大河原大会での話題提供

東北地区事務研秋田大会での話題提供をベースに「伊達なみやぎの学校事務を考えるⅢ～職務と研修と共同実施～」宮城の学校事務スタンダード（M s o s t）について話題提供を行います。新しい学校事務職員の職務について会員の皆様と一緒に考えていくべきだと思いま

(2) 令和4年度東北地区公立小中学校事務研究大会福島大会での話題提供検討

継続研究テーマ「伊達なみやぎの学校事務を考えるⅢ～職務と研修と共同実施～」のもと、宮城の学校事務スタンダード（M s o s t）の実践プランなど最終報告の場として、実践成果報告ができることを目指し研究活動を進める予定です。

(3) 県内統一話題提供

会員の皆様に活用していただけるような資料を収集し情報提供をしていきます。また、「教育関係用語解説集」についても検討できればと思っています。

(4) 組織改編に向けた部内構成検討

宮事研組織改編基本方針に則り、2班体制（調査班：各種調査集計担当、研究班：諸課題に資する研究推進担当）へのスムーズな移行ができるよう、部内にて検討調整を行います。

5 事務提要編集委員会

令和3年度も条例の改正にあわせた正確な学校事務の必携として活用できるよう「信頼性のある事務提要」の編集に努めつつ、編集委員の負担軽減のため、今年度より年1回の追録発行（第82号）に向けた活動を推進していくと考えます。

また、事務提要編集委員会もそのあり方について検討してまいります。私達が取扱う仕事内容の変化や学校数減少により会員も減少していく中でも、「信頼性のある事務提要」のため、そのやり方や内容等を見直していきます。事務提要につきましてお気づきの点、ご意見等ございましたら各地区の編集員までお知らせください。

なお、事務提要表紙カバーの状況が悪い場合や欠損ページがある場合、無料対応のサービスもありますので、下記あてお問い合わせください。

第一法規出版社 【お客様窓口】 Tel 0120-203-696

Fax 0120-202-974

(フリーダイヤル 9:00~17:30 祝祭日除く月~金曜)

6 組織機構検討委員会

令和3年度は9月をめどに、委員会でまとめた基本方針について意見収集結果を参考に検討を進め、「宮事研組織改編に係る意見書」にまとめ理事会へ報告する予定です。具体的な組織改編に向けた手続きについては、理事会の決定を受け報告書提出後も組織改編事項に向けた支援を委員会の使命と考え運営を予定しています。